

## 主なセグメント別業績の概況について

当第2四半期連結累計期間の売上高は、アウトソーシング事業8億53百万円（前年同期比5.5%増）、エフアンドエムクラブ事業6億91百万円（同5.2%増）、タックスハウス事業3億40百万円（同30.4%増）、不動産賃貸事業60百万円（同109.0%増）、その他事業1億94百万円（同16.1%減）となりました。

アウトソーシング事業は、生命保険営業職員を中心とする個人事業主に対する記帳代行を行っております。平成26年1月より白色申告者に対して記帳が義務化された法改正を受け、シェア拡大を最優先事項として取り組み、既存チャネルの深耕と新規チャネルの開拓に注力いたしました。併せて、サービス提供体制の強化を図りました。

エフアンドエムクラブ事業は、中堅中小企業のバックオフィス部門のサポートを行っております。サービスの拡充を進めると共に、会員企業の増大に向けて、金融機関、各種組合等との連携強化を図ることで営業機会の確保に努めた一方、会員企業に向けては、コールセンター部門からの電話によるフォロー活動と、企業の本質的な課題を顕在化させるための取り組みが定着したことが、更新率の向上に寄与しました。

タックスハウス事業は、ワンストップ・ファイナンシャルショップを目指す税理士・公認会計士のボランタリーチェーン「TaxHouse」本部の運営、当事業における記帳代行会員に対する記帳代行業業、認定経営革新等支援機関として、経営改善計画書の作成サポート、ものづくり補助金の申請サポート等を行っております。「TaxHouse」本部の運営においては、加盟店の付加価値向上のための継続的な研修の実施と、企業や個人が求める税務顧問の内容に合致するサービス提供が可能な税理士事務所を引き合わせる活動に注力しました。記帳代行業業については、引き続きコストコントロールを推し進めると共に、既存顧客からの紹介案件の引き出しに努めるなどして、会員数の増加に注力しました。認定経営革新等支援機関としての活動については、様々な金融機関と連携し、中小企業向けに経営改善計画書の作成サポートと、中小企業庁の「新ものづくり補助金（ものづくり・商業・サービス革新事業）」申請のサポートを行いました。

不動産賃貸事業は、当社が所有するビルの賃貸収入で、安定した収益を計上しております。平成25年12月に当事業の強化と収益確保の一環として、大阪府にて新たに不動産収益物件を取得しております。

その他事業は、連結子会社のエフアンドエムネット株式会社のシステム開発事業、社会保険労務士の事務所経営を支援するSR STATION事業、資格学校アテナの運営及びFC指導事業を行っております。エフアンドエムネット株式会社では、eラーニング、動画、アニメの配信アプリ開発や各OSのアプリ制作等を行いました。「SR STATION」では加盟事務所の顧問先開拓支援、提供サービスの拡充などによる付加価値向上支援、定期勉強会の開催による経営ノウハウ共有の場の提供などを行いました。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）
公告の方法	電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.fmltd.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 単元未満株式（最低取引単位に満たない1～99株の株式）をご所有の場合、当社に対して①買取請求または②買増請求（ご所有の単元未満株式と併せて1単元（100株）に達するまでの株式を買い増すこと）をすることができます。  
お手続きの詳細は、一般口座ご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社までお問合せください。

## 会社概要（2014年9月30日現在）

社名	株式会社エフアンドエム
設立	1990年（平成2年）
資本金	907,401,367円
代表者	代表取締役社長 森中一郎
事業内容	個人事業主および小規模法人向け記帳代行 中堅中小企業向け管理部門支援サービス 税理士・公認会計士経営支援事業（TaxHouse） 社会保険労務士経営支援事業（SR STATION） ISO・Pマーク認証取得支援 資格学校アテナ運営及びFC指導

## 株式会社エフアンドエム

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町一丁目23番38号 F&Mビル  
TEL：06-6339-7177 FAX：06-6339-7184 URL：<http://www.fmltd.co.jp/>

# 株主・投資家の皆さまへ 第25期 第2四半期株主通信

2014年4月1日から2014年9月30日まで



株式会社エフアンドエム

# 株主の皆さまへ

株主の皆さまには日頃より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社グループ第25期第2四半期(2014年4月1日から2014年9月30日まで)の決算ならびに事業の概要についてご報告するにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。



代表取締役社長 森中 一郎

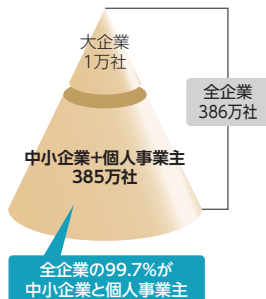
価値あるものを、もっと身近に。  
**「サービスの水道哲学」**の実現を目指し、  
 個人事業主と中堅中小企業の活性化にこだわりを  
 もって社会貢献してまいります。

## 企業哲学

「サービスの水道哲学」の実現をめざす。

現在、日本の事業者の99%以上を個人事業主と中堅中小企業が占めています。ところがこれらの事業者は大企業と比べ、バックオフィスと呼ばれる総務・管理部門における業務を始め、多くの面で不利な状況にあります。現在の企業向けサービスは、大半が大企業向けにつくられており、個人事業主や中堅中小企業にはミスマッチで、しかもコスト高になっているためです。

かつて松下幸之助氏は「水道哲学」を提唱し、当時庶民にとっては高価だった家電製品を、蛇口をひねれば水が得られるかのように、誰もがごく当たり前に享受できる生活を目指し、それを実現させました。このように、個人事業主と中堅中小企業に対して、水のごとく当たり前に、価値あるサービスを低コストで提供することができれば、社会はもっと活性化するのではないかと。この考えを当社グループでは「サービスの水道哲学」と呼び、すべての事業のコンセプトとしています。



中小企業庁HPより

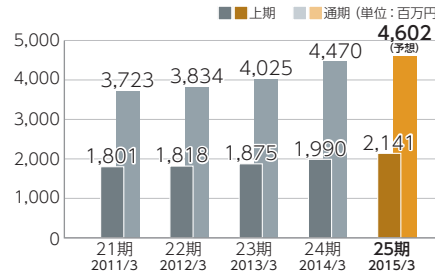
## 決算ハイライト

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高21億41百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益2億73百万円(同11.7%増)、経常利益2億75百万円(同9.5%増)、四半期純利益1億49百万円(同17.1%増)となりました。

### 売上高

**2,141**百万円

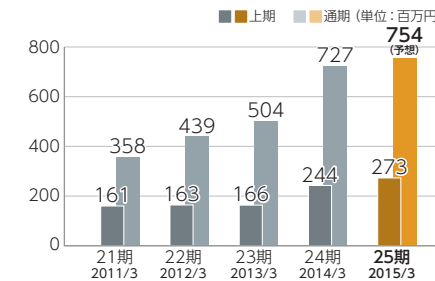
前年同期比 **7.6%増**



### 営業利益

**273**百万円

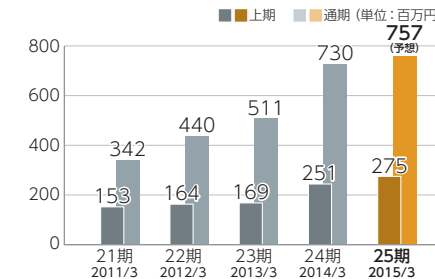
前年同期比 **11.7%増**



### 経常利益

**275**百万円

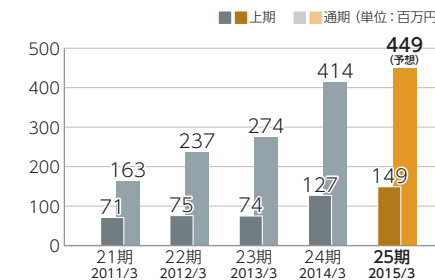
前年同期比 **9.5%増**



### 四半期純利益

**149**百万円

前年同期比 **17.1%増**



## 連結貸借対照表より抜粋

(単位:千円)

科 目	前期末 (2014年3月31日現在)	当第2四半期 (2014年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,699,966	2,582,563
固定資産	2,856,841	2,916,912
有形固定資産	2,322,571	2,314,702
無形固定資産	129,844	164,719
投資その他の資産	404,425	437,490
<b>資産合計</b>	<b>5,556,808</b>	<b>5,499,475</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	806,083	751,137
固定負債	349,157	299,036
<b>負債合計</b>	<b>1,155,240</b>	<b>1,050,173</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,382,713	4,431,241
その他の包括利益累計額	4,260	14,893
新株予約権	3,194	3,167
少数株主持分	11,399	-
<b>純資産合計</b>	<b>4,401,567</b>	<b>4,449,302</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,556,808</b>	<b>5,499,475</b>

## 四半期連結損益計算書より抜粋

(単位:千円)

科 目	前第2四半期 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	当第2四半期 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
<b>売上高</b>	<b>1,990,047</b>	<b>2,141,995</b>
売上原価	583,322	676,828
<b>売上総利益</b>	<b>1,406,725</b>	<b>1,465,167</b>
販売費及び一般管理費	1,161,915	1,191,810
<b>営業利益</b>	<b>244,809</b>	<b>273,356</b>
営業外収益	11,042	5,487
営業外費用	4,406	3,596
<b>経常利益</b>	<b>251,446</b>	<b>275,247</b>
特別利益	54	27
特別損失	2,907	9,231
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>248,592</b>	<b>266,043</b>
法人税、住民税及び事業税	125,017	115,659
法人税等調整額	△ 2,806	2,482
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>126,382</b>	<b>147,901</b>
少数株主損失(△)	△ 891	△ 1,147
<b>四半期純利益</b>	<b>127,273</b>	<b>149,048</b>